

「日本海を渡ってきた鑄造技術」

— 青銅器から高岡銅器まで —

日本の自動車の性能の高さは世界で認められています。重要な部品であるエンジンは鑄造技術で作られ、私たちは日々この技術の恩恵を受けて暮らしています。富山県の重要な伝統産業は高岡銅器ですが、古代青銅器・高岡銅器・エンジンの鑄造は一本につながった技術史の流れの中にあります。二千年以上も前に、朝鮮半島南部から北部九州に青銅器と技術が海を渡って伝わり、日本列島の鑄造がスタートします。東アジア四千年の青銅器の歴史は、社会の需要と密接に関わりながら、新製品・新技術の出現と消滅を繰り返し、かたち作られたと言えます。

■講 師／富山大学芸術文化学部 教授 **三船温尚** 氏

■実施日／平成29年 **7月8日**(土) 14:00～15:30

■場 所／**富山県民会館 401号室**
(富山市新総曲輪4番18号 TEL 076-432-3111)
JR富山駅(南口)より徒歩約10分
※なるべく電車・バスでお越しください。
なお、会館駐車場は、基本料金(1時間) 無料、以降30分ごとに110円となります。

■募集人員／ **100名** (どなたでも、お申し込みいただけます。
定員に達し次第締め切らせていただきます。)

■受講料／ **無 料**

■申込期間／ **平成29年7月7日(金)まで**

■申し込み方法／
はがき・電話・FAXまたはE-mail(件名は「7/8 日本海学講座申込み」で
お願いします)で、**氏名・ご連絡先(電話番号またはE-mailアドレス)**を
明示のうえ、下記までお申込みください。
また、下記日本海学推進機構HPからもお申し込みいただけます。
なお、受講票は発行いたしませんので、ご了承ください。

申し込み・お問い合わせ先

〒930-8501(住所記載不要)

日本海学推進機構(富山県観光振興室内)

TEL.076-444-3339(直通)

FAX.076-444-4404

E-mail adm@nihonkaigaku.org

HP <http://www.nihonkaigaku.org/>